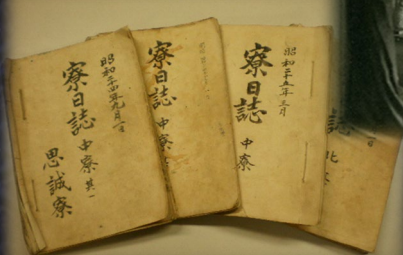


松高人名録（その一）

2019年、松本高等学校の開校100年を記念して、旧制高等学校記念館、信州大学日本文学分野及び大学史資料センターとの連携事業として、企画展「松高人名録（その一）」を行いました。

戦前・戦中・戦後を通して、さまざまな分野で活躍した松高生20名のプロフィールをご覧いただき、現代日本の発展において、旧制高等学校がいかに重要な役割を果たしてきたかを振り返ります。

「松高人名録」は今後もシリーズで企画し、情報を蓄積していく予定です。



松高人物アーカイブ 構築にむけて

旧制高等学校記念館は、松本高等学校の校友会、思誠寮、同窓会などの貴重な資料を所蔵しています。

これらの資料を電子化し、一人一人の人名と結びつけることができれば、立体的な人物像が浮かび上がる、より魅力的なコンテンツになるでしょう。

これを「松高人物アーカイブ」と仮に名付け、この展示をその構築に向けた、第一歩と位置づけたいと思います。

松高人物アーカイブ（仮称）

写 真

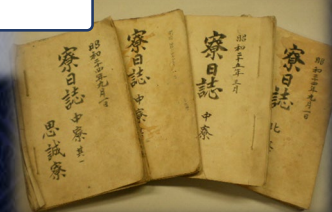
物 品

松高人名録

同窓会誌

校友会誌

寮生日誌



宮崎 市定

みやざき いちさだ

プロフィール

回（所属） 第1回生（文甲） 大正11年（1922）卒

生年月日 1901年8月20日

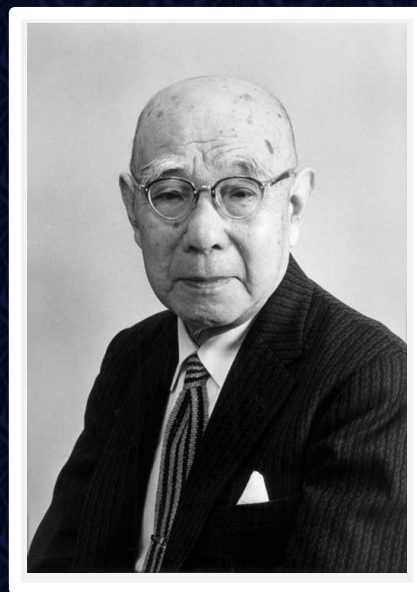
出身地 長野県 出身中学 飯山中学校

大 学 京都帝国大学文学部史学科

卒業後 第六高等学校、第三高等学校、京都帝国大学

人物紹介

東洋史学者、文化功労者。
中国の社会、経済、制度史
と多岐にわたる論考を発表
し、東洋史研究の礎を築く。
『科挙』、『アジア史概
説』、『中国史』などは、
現在もベストセラーである。



肖像写真：飯山市ホームページより転載させていただきました。

<http://www.city.iiyama.nagano.jp/contents/iiyama/iiyama-about/iiyama-mei-yoshimin.htm>

望月 市恵

もちづき いちえ

プロフィール

回（所属） 第1回生（文乙） 大正11年（1922） 卒

生年月日 明治34年（1901） 1月25日

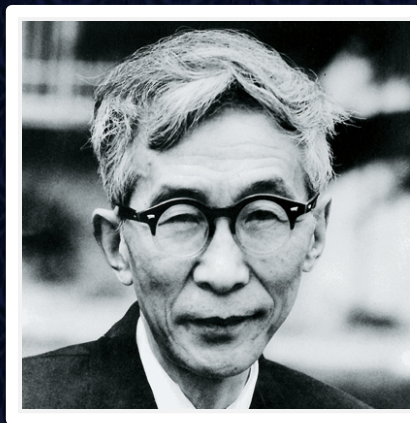
出身地 長野県 出身中学 松本中学校

大 学 京都帝国大学文学部史学科

卒業後 立教大学、静岡高等学校、第一高等学校、松本
高等学校、信州大学

人物紹介

ドイツ文学者。
多くのドイツ文学を翻訳・
紹介したトーマス・マン研
究の第一人者。
母校である松本高等学校で
教鞭を執り、北杜夫他、多
くの学生に師と仰がれた。



唐木 順三

からき じゅんぞう

プロフィール

回（所属） 第3回生（文甲） 大正13年（1924） 卒

生年月日 明治37年（1904） 2月13日

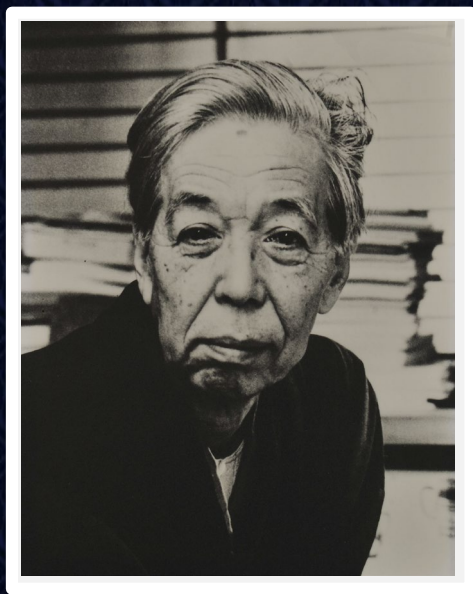
出身地 長野県 出身中学 松本中学校

大 学 京都帝国大学文学部哲学科

卒業後 筑摩書房、明治大学

人物紹介

文芸評論家、哲学者。
西田幾太郎を慕い、京都大学哲学科へ進学。
筑摩書房の顧問となり、文学者としての感受性と哲学者としての思考力を融合させた、独特の評論活動を展開した。



中島 健蔵

なかじま けんぞう

プロフィール

回（所属） 第4回生（文乙） 大正14年（1925）卒

生年月日 明治36年（1903）2月22日

出身地 東京府 出身中学 東京高等師範学校附属
中学校

大 学 東京帝国大学文学部仏文学科

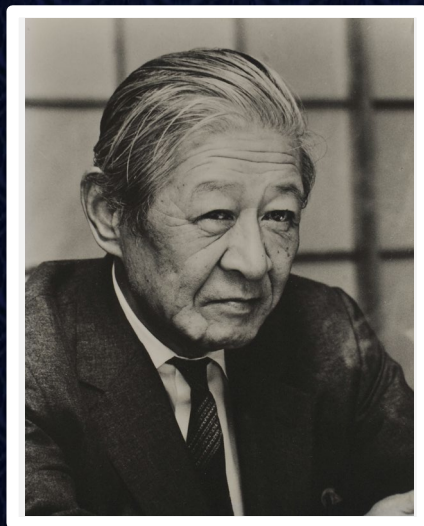
卒 業 後 東京帝国大学副手

人物紹介

フランス文学者、文芸評論家。

1934年『懷疑と象徴』で文壇デビュー。

評論活動とともに、日本ペン・クラブの再建、日本比較文学会や日本著作権協議会の創立に尽力した。



仁井田 陞

にいだ のぼる

プロフィール

回（所属） 第4回生（文甲） 大正14年（1925） 卒

生年月日 明治37年（1904） 1月1日

出身地 宮城県 出身中学 京華中学校

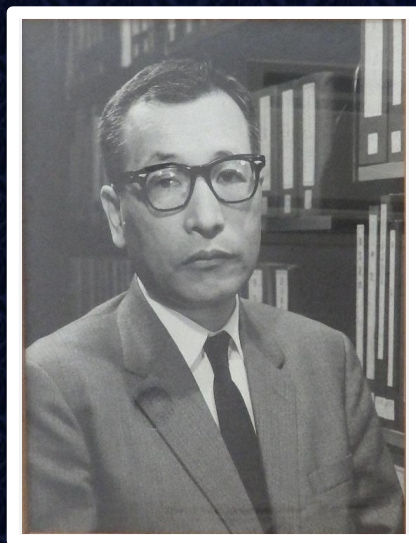
大 学 東京帝国大学法学部法律学科

卒業後 東京帝国大学東洋文化研究所

人物紹介

法制史学者。
松本高等学校入学時より、
朝4時に起床し勉学にいそ
しんだという。

『唐令拾遺』によって中国
法制史研究の礎を築き、以
後も『中国法制史』などの
大著を著した。



濱 徳 太 郎

はま とくたろう

プロフィール

回（所属） 第4回生（理乙） 大正14年（1925） 卒

生 年 月 日 明治34年（1901） 10月13日

出 身 地 長野県 出身中学 諏訪中学校

大 学 東京帝国大学文学部美学美術史学科

卒 業 後 日本大学芸術学科、昭和女子大学

人物紹介

美学者、作曲家。
松本高等学校を6年かけて卒業。その間に、「夕暮るる」、「春寂寥」、「雲にうそぶく」の寮歌を作曲した。
後年、日本クラシックカー・クラブを創設。



臼井 吉見

うすい よしみ

プロフィール

回（所属） 第5回生（文甲） 大正15年（1926） 卒

生年月日 明治38年（1905） 6月18日

出身地 長野県 出身中学 松本中学校

大 学 東京帝国大学文学部国文学科

卒業後 筑摩書房『展望』編集長

人物紹介

作家、長編小説『安曇野』の著者。

編集者、文芸評論家。

古田晃が創設した筑摩書房で、唐木順三とともに雑誌『展望』を創刊し、編集者、評論家として活躍した。後に、代表作『安曇野』を執筆する。



古田 晁

ふるた あきら

プロフィール

回（所属） 第6回生（文甲） 昭和2年（1927）卒

生年月日 明治39年（1906）1月13日

出身地 長野県 出身中学 松本中学校

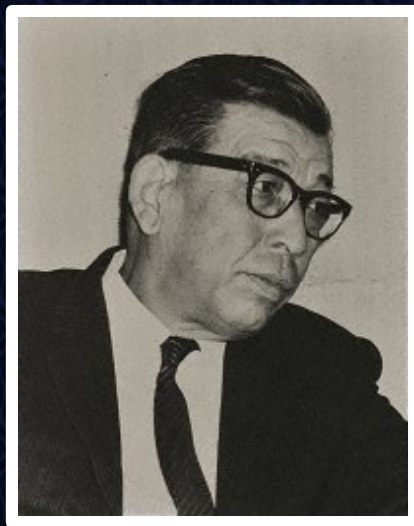
大 学 東京帝国大学文学部倫理学科

卒業後 筑摩書房創業

人物紹介

出版人。

臼井吉見、唐木順三とともに作り上げていった筑摩書房には、執筆者を尊重する古田を慕って、太宰治や中野重治、丸山真男など、数多くの学者・文学者たちが集った。



萩原 尊礼

はぎわら たかひろ

プロフィール

回（所属） 第8回生（理甲） 昭和4年（1929）卒

生年月日 明治41年（1908）5月11日

出身地 東京府 出身中学 東京開成中学校

大 学 東京帝国大学理学部地震学科

卒業後 東京帝国大学地震研究所、東京大学地震研究所

人物紹介

地震学者。

「地震予知研究の生みの親」として知られる。

世界の地震予知研究に大きな影響を与えた、測定計画書「ブルーシート」を作成し、地震予知連絡会会長なども歴任した。



今井田 研二郎

いまいだ けんじろう

プロフィール

回（所属） 第9回生（文甲） 昭和5年（1930）卒

生年月日 明治40年（1907）8月30日

出身地 岡山県 出身中学 静岡中学校

大 学 東京帝国大学法学部法律学科

人物紹介

登山家。

松本高等学校時代から山岳部に所属し、積雪期の穂高を踏破する。

東京大学でもスキー山岳部で活躍し、後に第5代日本山岳協会 会長として、チョモランマ登山の実現に尽力した。



数井 保太郎

かずい やすたろう

プロフィール

回（所属） 第11回生（理甲） 昭和7年（1932）卒

生年月日 明治45年（1912）1月29日

出身地 東京府 出身中学 東京第三中学校

大 学 東京帝国大学医学部

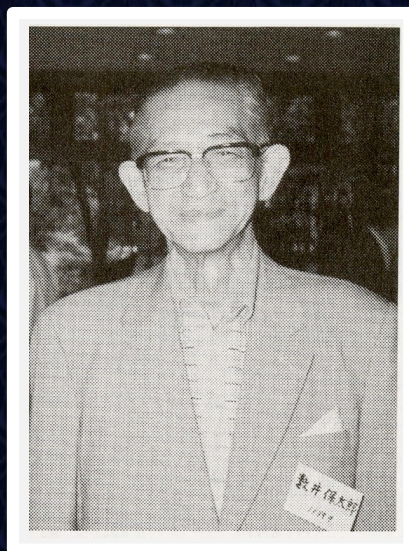
卒業後 チバフク株式会社

人物紹介

実業家。

松本高等学校山岳部時代、
前穂高東面バットレスなど
幾多の登攀ルートを踏破し、
「山の神」と称される。

大学卒業後は事業家として
成功、薬品会社社長などを
歴任した。



古畑 正秋

ふるはた まさあき

プロフィール

回（所属） 第13回生（理甲） 昭和9年（1934）卒

生年月日 大正1年（1912）9月18日

出身地 長野県 出身中学 諏訪中学校

大 学 東京帝国大学理学部天文学科

卒 業 後 東京大学東京天文台

人物紹介

天文学者。東京大学卒業後、ハーバード大学天文台で、プログラムによる測定や計算などに従事する。東京天文台長に就任後は、野辺山宇宙電波観測所や木曾観測所の設置に尽力した。



宋 範 儀

そう はんぎ

プロフィール

回（所属） 第20回生（文乙） 昭和16年（1941）卒

生年月日 大正9年（1920）10月6日

出身地 長野県 出身中学 京城第一中学校

大 学 東京帝国大学文学部社会学科

人物紹介

松本高等学校では蹴球部に所属し、真面目な人柄と他人に迷惑をかけない心遣いで人望を集めた。寮歌「雪の筑摩野」の作詞者。松本高等学校卒業後、東京大学に入学し、その後消息を絶った。



飯島 宗一

いいじま そういち

プロフィール

回（所属） 第22回生（理3） 昭和17年（1942）卒

生年月日 大正11年（1922）11月28日

出身地 長野県 出身中学 諏訪中学校

大 学 名古屋帝国大学医学部

卒業後 広島大学、名古屋大学

人物紹介

医学者。

名古屋大学を卒業後、広島大学で原爆症を研究する。

医に携わる人々は、人間を愛する者でなくてはならないと、核廃絶、平和問題に対しても、多くの発言を残した。



青戸 純

あおと じゅん

プロフィール

回（所属） 第23回生（理3） 昭和17年（1942）卒

生年月日 大正12年（1923）2月20日

出身地 東京府 出身中学 東京第三中学校

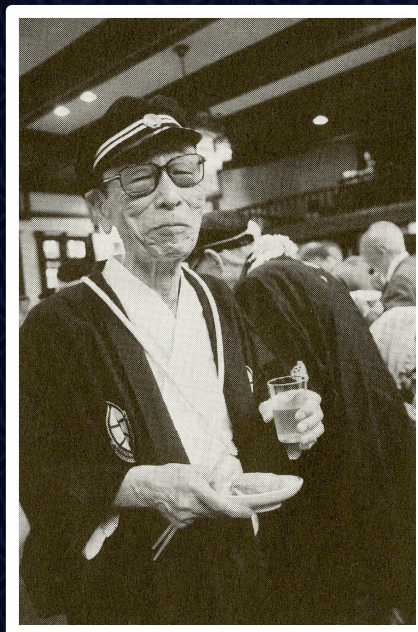
大 学 東京工業大学建築学科

卒業後 県設計事務所

人物紹介

建築家。

日本復興の根本策として住宅問題を考え、民主建築会に参加、東京土木建築労働組合初代書記長となる。平和問題にも建築家代表として積極的に関わった。



芦部 信喜

あしべ のぶよし

プロフィール

回（所属） 第23回生（文甲） 昭和18年（1943）卒

生年月日 大正12年（1923）9月17日

出身地 長野県 出身中学 伊那中学校

大 学 東京帝国大学法学部政治学科

卒業後 東京大学法学部

人物紹介

憲法学者。

大学時代に新憲法第九条に触れ、平和主義が胸に刻み込まれ、憲法学者の道を選ぶ。

著書『憲法』は、現在も司法試験受験者のバイブルとしてロングセラーとなっている。



小谷 隆一

こたに りゅういち

プロフィール

回（所属） 第26回生（文1） 昭和22年（1947）卒

生年月日 大正13年（1924）8月16日

出身地 京都府 出身中学 京都市立第二商業学校

大 学 東京帝国大学法学部

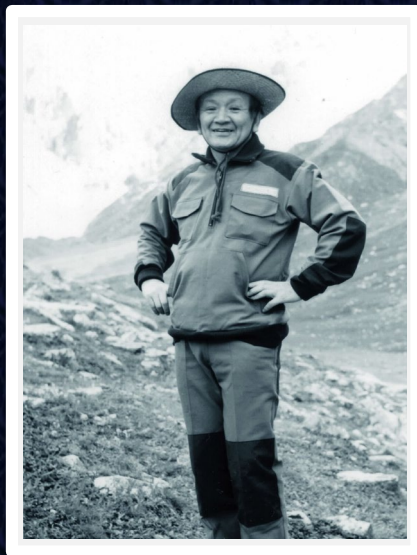
卒業後 伊勢藤紙工株式会社

人物紹介

実業家。

戦後、不当な弾圧をとり続けた校長・教授排斥運動の中心となる。

家業の傍らヒマラヤ遠征登山などの隊長を務める。日本有数の山岳図書コレクションを信州大学に寄贈した。



斎藤 宗吉

さいとう そうきち

プロフィール

回（所属） 第27回生（理6） 昭和23年（1948）卒

生年月日 昭和2年（1927）5月1日

出身地 東京府 出身中学 麻布中学校

大 学 東北大学医学部医学科

卒業後 慶応義塾大学病院、水産庁

人物紹介

小説家。日本芸術院会員。
北杜夫の筆名で知られる。
『夜と霧の隅で』で芥川賞
受賞。松本高等学校時代の
思い出は『どくとりマンボ
ウ青春記』に記されている。
辻邦生、小谷隆一などとの
交流は終生に渡った。



辻 邦 生

つじ くに お

プロフィール

回（所属） 第28回生（文1） 昭和24年（1949） 卒

生 年 月 日 大正14年（1925） 11月10日

出 身 地 東京府 出身中学 日本大学第三中学校、
城北高等補習学校

大 学 東京帝国大学文学部仏文学科

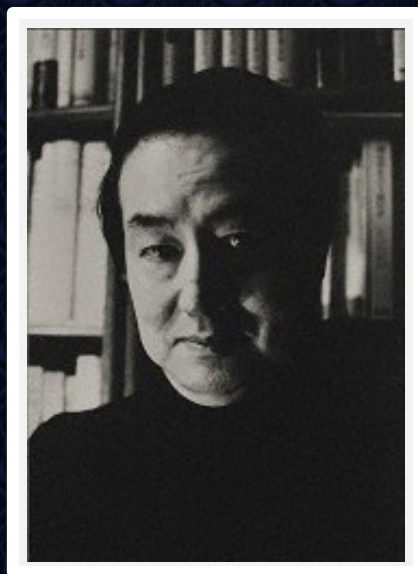
卒 業 後 立教大学、学習院大学

人物紹介

仏文学者、小説家。

『廻廊で』で近代文学賞受賞。

松本高等学校時代、戦中・戦後の移ろいの中で葛藤した5年間で、人間の高貴さを瑞々しく描いた数々の作品を生み出した。



熊井 啓

くまい けい

プロフィール

回（所属） 第30回生（文） 昭和24年（1949）卒

生年月日 昭和5年（1930）6月1日

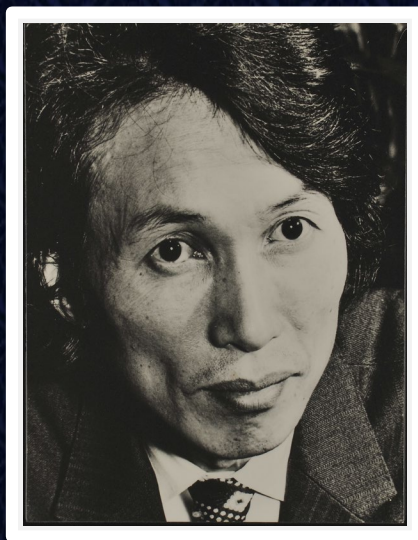
出身地 長野県 出身中学 松本中学校

大 学 信州大学文理学部

卒業後 日活撮影所

人物紹介

映画監督。『日本列島』
『サンダカンハ番娼館 望郷』
『日本の黒い夏一冤罪』など、日本を代表する社会派映画の巨匠。
ベルリン、ヴェネツィアなど海外の映画祭でも受賞した。



「松高人名録（その一）」

70周年記念モーションロゴ モーション制作：千吉良祐弥

スライド 制作・編集 蛭田直

制 作 旧制高等学校記念館
信州大学日本文学分野
信州大学 大学史資料センター

Copyright © 信州大学 大学史資料センター All rights reserved.